

JVCKENWOOD

JVCケンウッド DXビジネス事業説明資料

2021年3月16日

株式会社JVCケンウッド

- 1. DXビジネス事業について**
- 2. 現在展開している主なビジネス**
- 3. 成長シナリオと新たな取り組み**

1. DXビジネス事業について

2. 現在展開している主なビジネス

3. 成長シナリオと新たな取り組み

DXビジネス事業について

「2020年ビジョン」に掲げる「顧客価値創造企業への変革」を実現するため、
既存3分野で培った多様な技術・知見等を生かした
顧客課題・社会課題を解決するソリューションの創造により“第4の柱”を育成



※SDGs : Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標

DXビジネス事業について

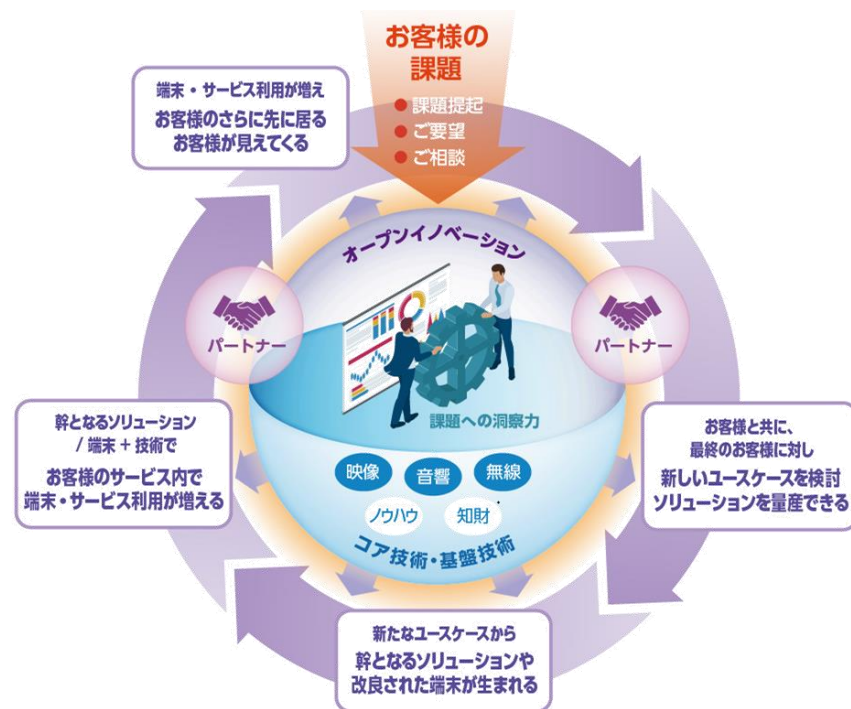
■ DX（デジタルトランスフォーメーション）とは？

「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」

※引用：「『DX推進指標』とそのガイダンス」（経済産業省）

■ DXビジネス事業部とは？

DXビジネス事業部は、AIやIoTといった最新のデジタル技術やIT技術を駆使することで、お客さまの事業運営やコスト削減、効率化等に寄与する製品・サービスの提案にとどまらず、お客さまに寄り添って共に課題を解決する、という価値提供を目指しています

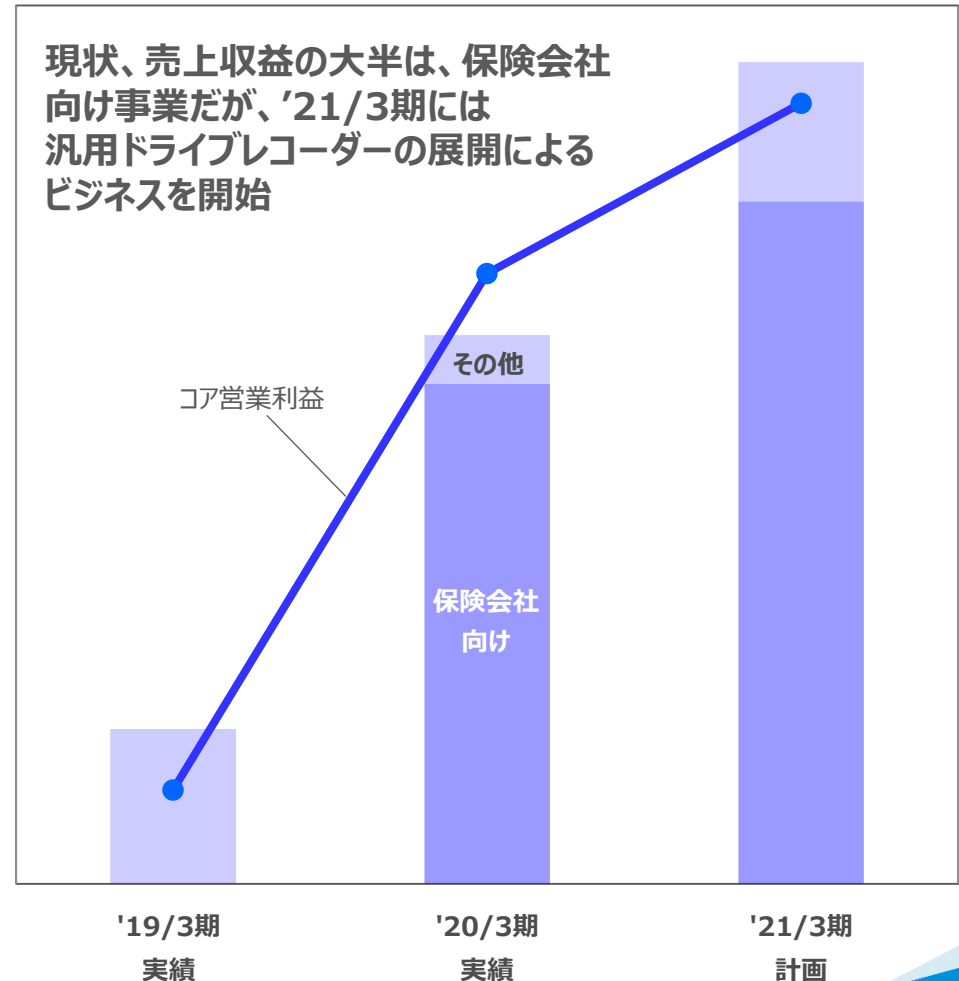


DXビジネス事業部について

■ 沿革

- 2016年：経営企画部の一つのチームとして4名で発足
- 2017年：CTO傘下でソリューション開発部として独立した組織に
- 2018年：2017年までのリード案件の開発に着手、本格的な売上開始
- 2019年：DXビジネス事業部発足。本格的な事業部として活動開始。陣容は130名規模へ

■ DXビジネス事業部の実績推移



1. DXビジネス事業について
- 2. 現在展開している主なビジネス**
3. 成長シナリオと新たな取り組み

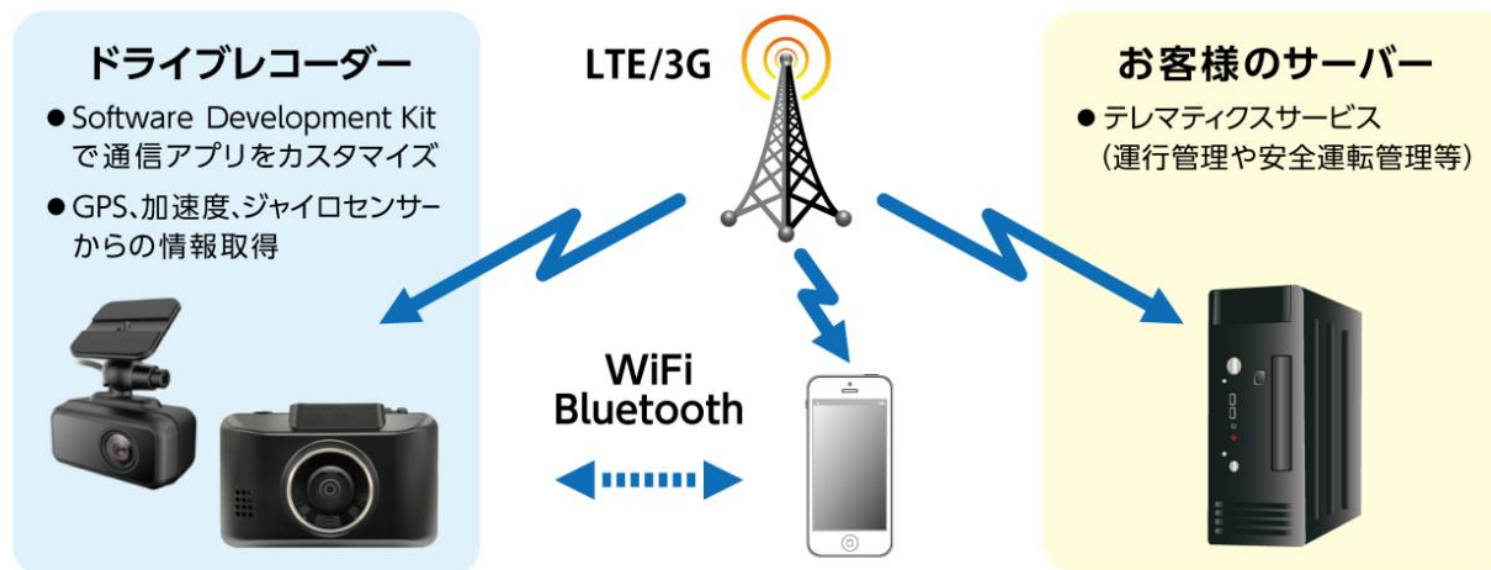
通信型ドライブレコーダー事業

JVCKENWOOD

通信型ドライブレコーダーとは

通信型ドライブレコーダーを開発

- IoT・AIデバイスとしての活用にもフォーカスした、テレマティクスサービス向け通信型ドライブレコーダー
- 汎用OSの採用により顧客のニーズに応じてドライブレコーダー機能や外部システムとの連携を自由にカスタマイズ可能、幅広い分野に向けて提案



当社開発の通信型ドライブレコーダーの変遷



通信型ドライブレコーダーを活用したDXビジネス

自動車保険市場

被保険者



保険特約サービス

- 事故緊急自動通報サービス
- 運転レポート
- 安全運転支援アラート
- 常時録画機能
- 見守るサービス



安全サービス

- 常時録画機能
- パニックボタンによる危険通知
- 近隣ドライバーへの通知
- サポートセンターへの通知

タクシー市場



運転手



(現地パートナー)

JVCKENWOOD

提供サービス

- デバイスの開発・製造・供給
- AI・ソフトウェアの開発
- クラウドシステム
- キットティング・リファービッシュ
- コールセンター

MS&AD



一般運転手



安全サービス

- 事故通知 ■ 緊急通知
- 駐車異動通知 ■ 現在地共有
- 運転警告履歴
- 交通情報など情報提供



フリートマネジメントサービス

- 事故通知 ■ 居眠り検知
- 緊急通知
- フリート管理
- 顔認証
- あおり、よそ見検知



運送・営業車等



くるみえ

フリート市場

一般市場

DXによる変革例(自動車保険)

目的：より良い保険サービスの提供



保険契約（自動車保険契約のオプションサービス）



- 事故緊急自動通報サービス
- 安全運転支援アラート
- 常時録画機能
- 運転レポート
- 見守りサービス

MS&AD

三井住友海上 あいおいニッセイ同和損保

- クラウドシステム
- コールセンター

MS&AD

JVCケンウッド

- デバイスの製造
- ソフトウェア開発
- キットティング
- コールセンター

DXによる変革

保険会社

- ・ 安全運転による事故削減
- ・ 事故査定・示談までのコスト削減
- ・ 保険加入者増加

被保険者

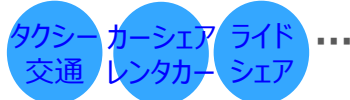
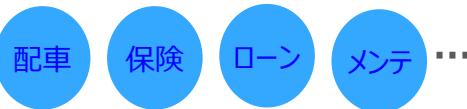
- ・ 事故削減・安全運転
- ・ 緊急時の迅速な手続き
- ・ 過失判定の精度向上

事業領域と展開地域の拡大（自動車市場から空間市場へ）

DXビジネスの提供価値・商材

Device起点でつながる、みつける、役立つ
豊かな社会の創造支援へ

サービス



変革要請/
顧客課題

解決提案/
ソリューション

モビリティプラットフォーム
(Device as a Service)

高信頼・セキュアな個客データを
常時収集・活用できる接点・基盤

つながるドライブレコーダー・端末



ユーザー・用途が広がることで、
顧客知見・生の行動データを生かした価値提案へ

具体的なアカウントの存在する領域から展開

フットプリントがあり伸びしろが大きい国
での顧客価値創造事業のモデルづくり

展開地域の拡大



米国



ミャンマー



インドネシア



顧客視点で具体的なニーズがあるところから展開

空間×サービス



日本

可視化と見守りニーズの
存在するセグメントに展開

車×サービス



日本

業界のリーディングプレイヤーに展開



あいおいニッセイ同和損保



ドコモ・システムズ株式会社

IWATSU

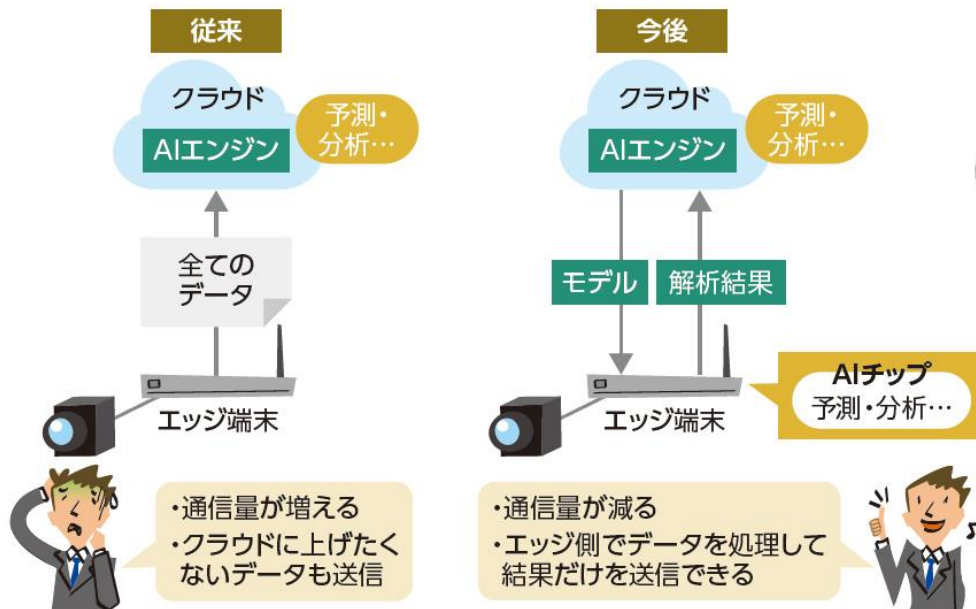
エッジAIカメラ事業

JVCKENWOOD

エッジAIカメラとは

- 従来カメラでの画像・映像をAI処理を行う場合、サーバー・クラウド側で行っていたが、これをエッジ（カメラ）側でAI処理を行う機能をもつカメラのこと

クラウドAIとエッジAIの違い



個人情報 プライバシーの問題



クラウド（サーバー）とのレイテンシーの問題



通信コスト サーバー使用料コスト



セキュリティ問題

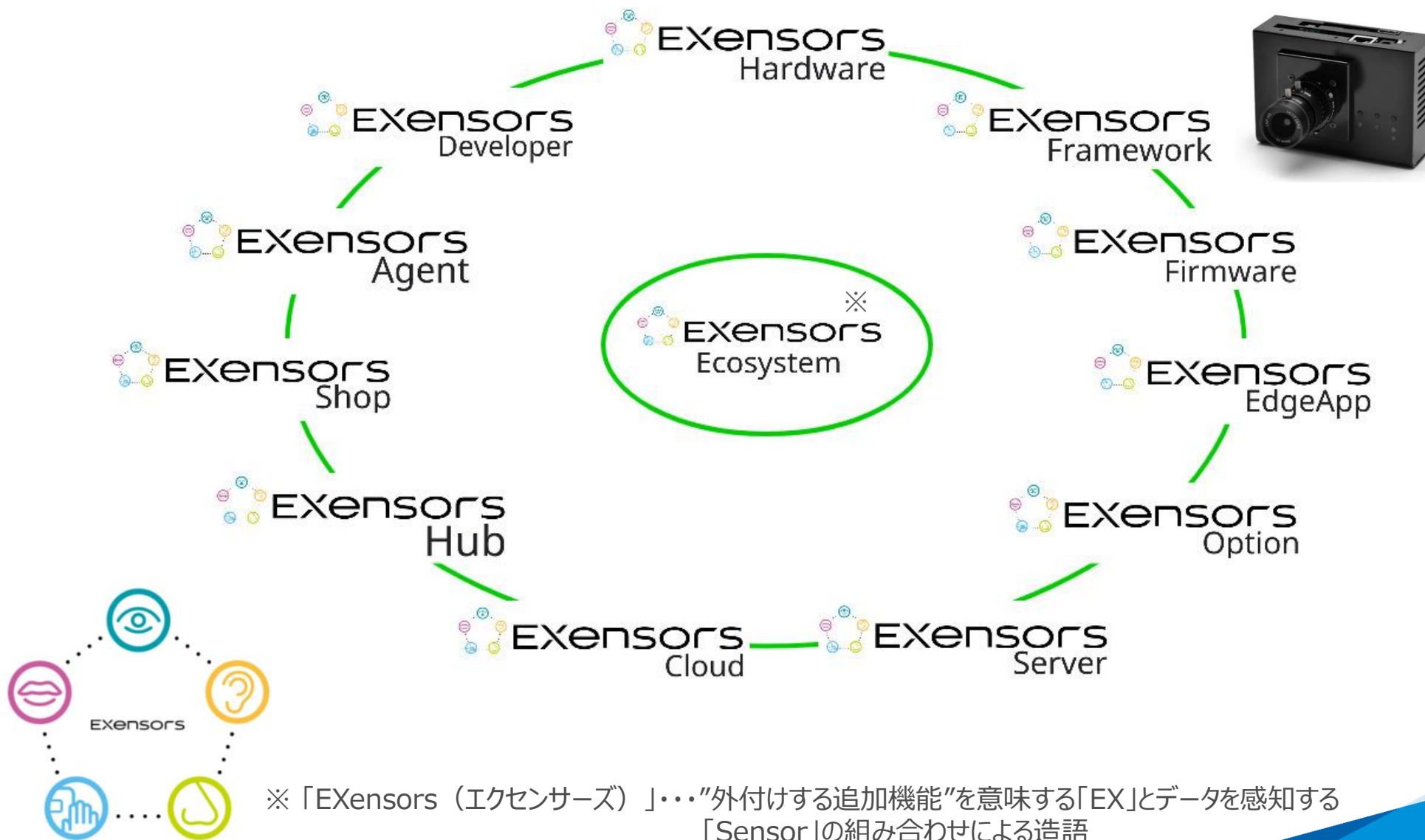
エッジAIカメラによるソリューションの広がり

目的に応じアプリケーションを搭載することにより、さまざまなシーンでの利用が可能



エッジAIカメラを起点とするエコシステムの確立

エッジAIカメラのソリューション提供を加速させるため、エコシステムを提供する



「空間×サービス」の新たな取り組み①

エッジAIカメラを活用した振り込み詐欺を未然に防ぐソリューション

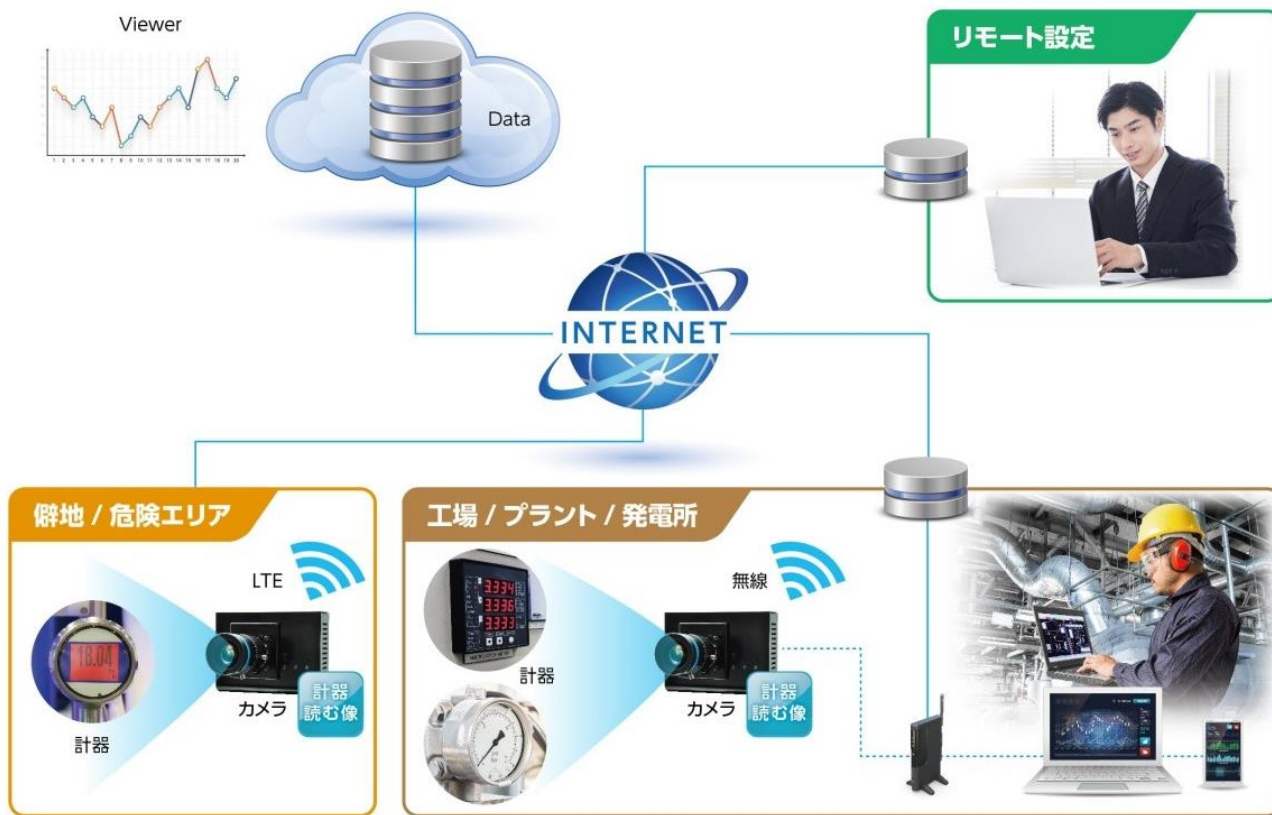
- 北洋銀行の実店舗で、新型コロナウイルス感染症対策の給付金や助成金に関連した詐欺や振り込み詐欺を未然に防ぐソリューションの実証実験を実施。将来的には同ソリューションの実店舗での実用化を目指す



「空間×サービス」の新たな取り組み②

エッジAIカメラとメーター自動読み取りソフトウェアの連携ソリューション

- 岩崎通信機との協業により、当社が取り扱うエッジAIカメラと同社製のメーター自動読み取りソフトウェア「計器読む像」を連携させたファクトリー・オートメーション（FA）向けソリューションの提供を開始



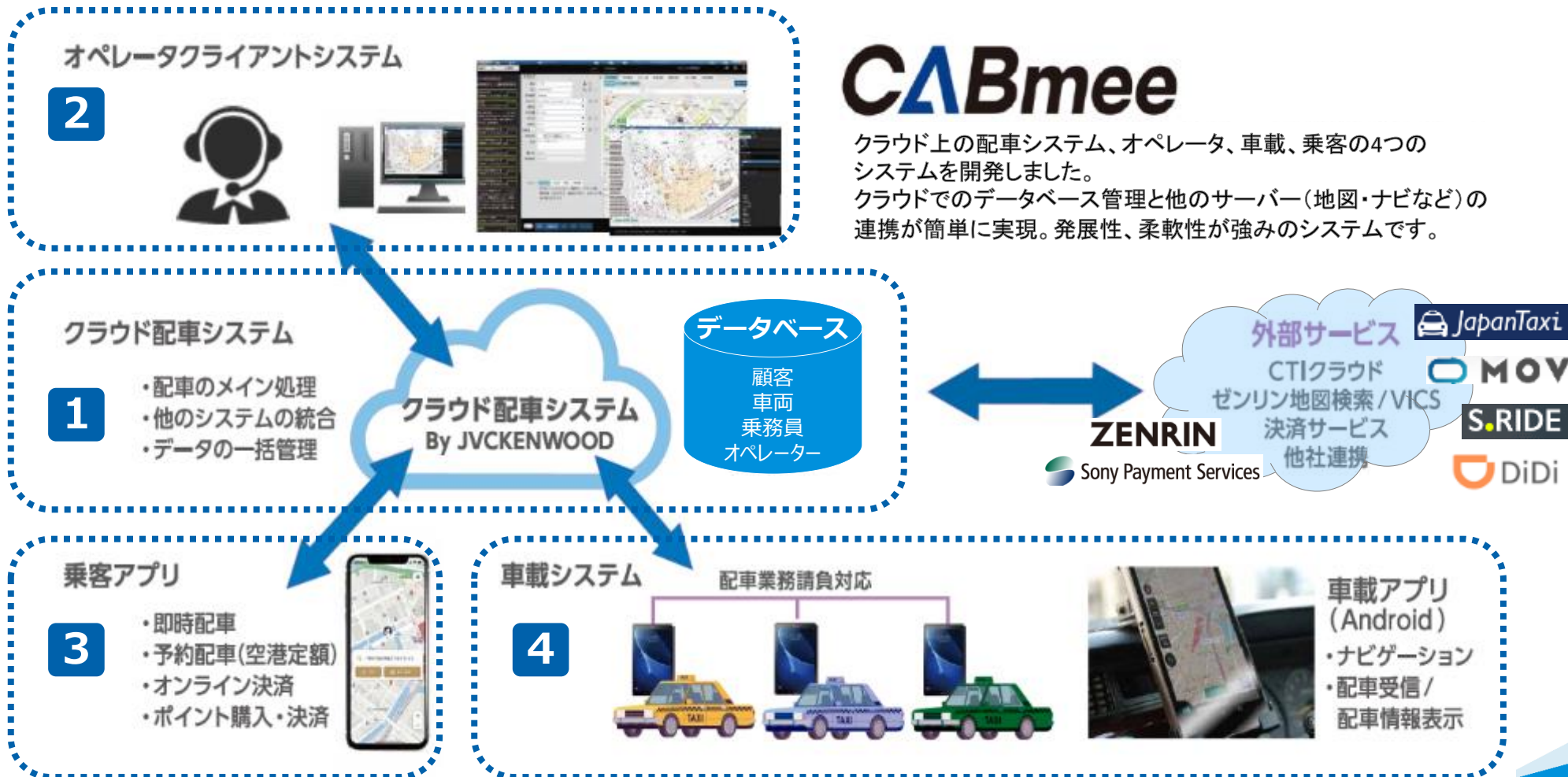
MaaS事業

JVCKENWOOD

タクシー向け総合システム CABmeeについて

CABmeeは、**1** クラウドでの配車システムを中心に、**2** 電話オペレータが操作するクライアントシステム、**3** 乗客のスマホアプリ、**4** タクシーの車載システム、の4つのサービスを提供します。

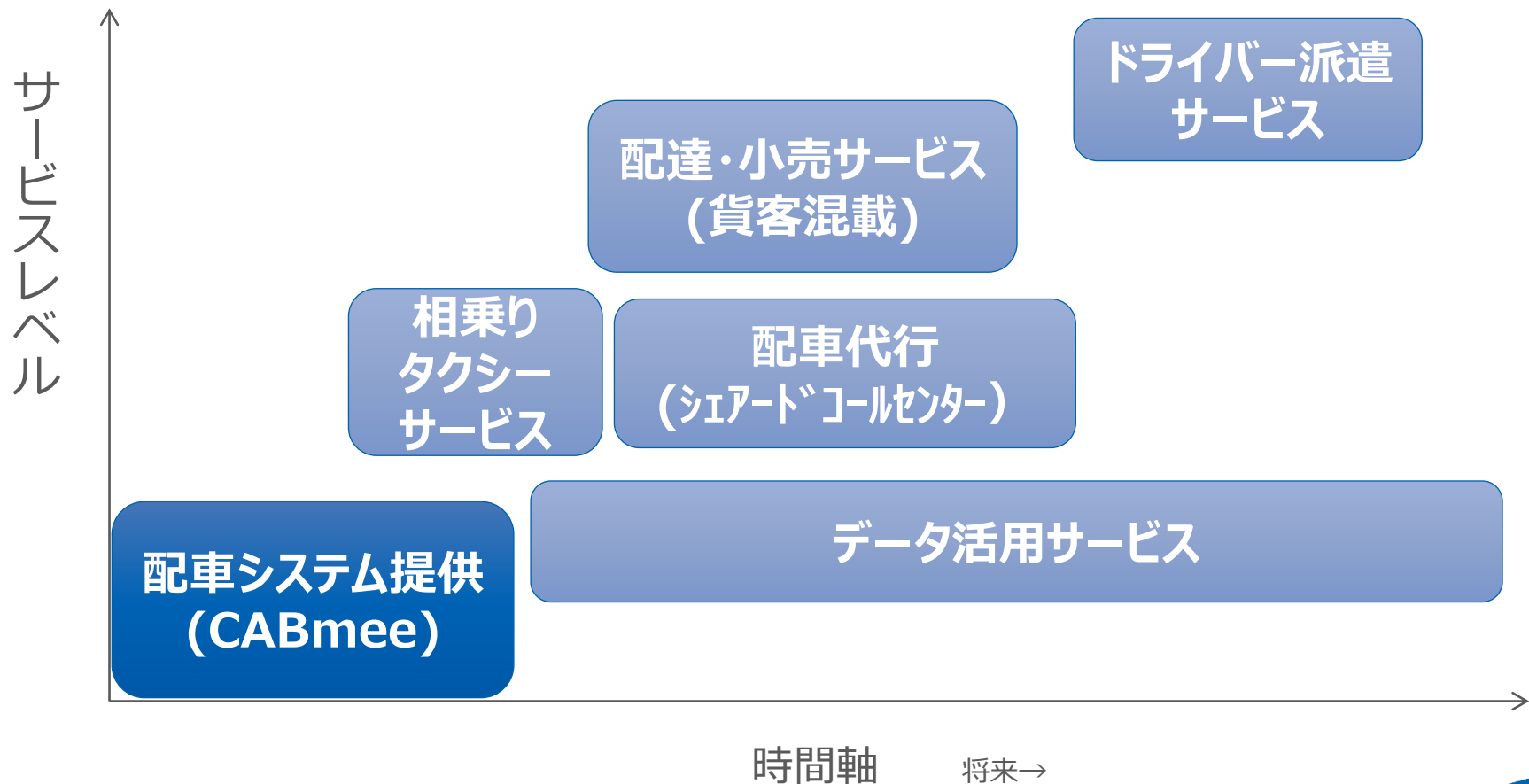
また、他社が展開するクラウドサービスと簡単に接続ができるため、幅の広いサービスの提供が可能です



CABmeeをベースとした展開構想

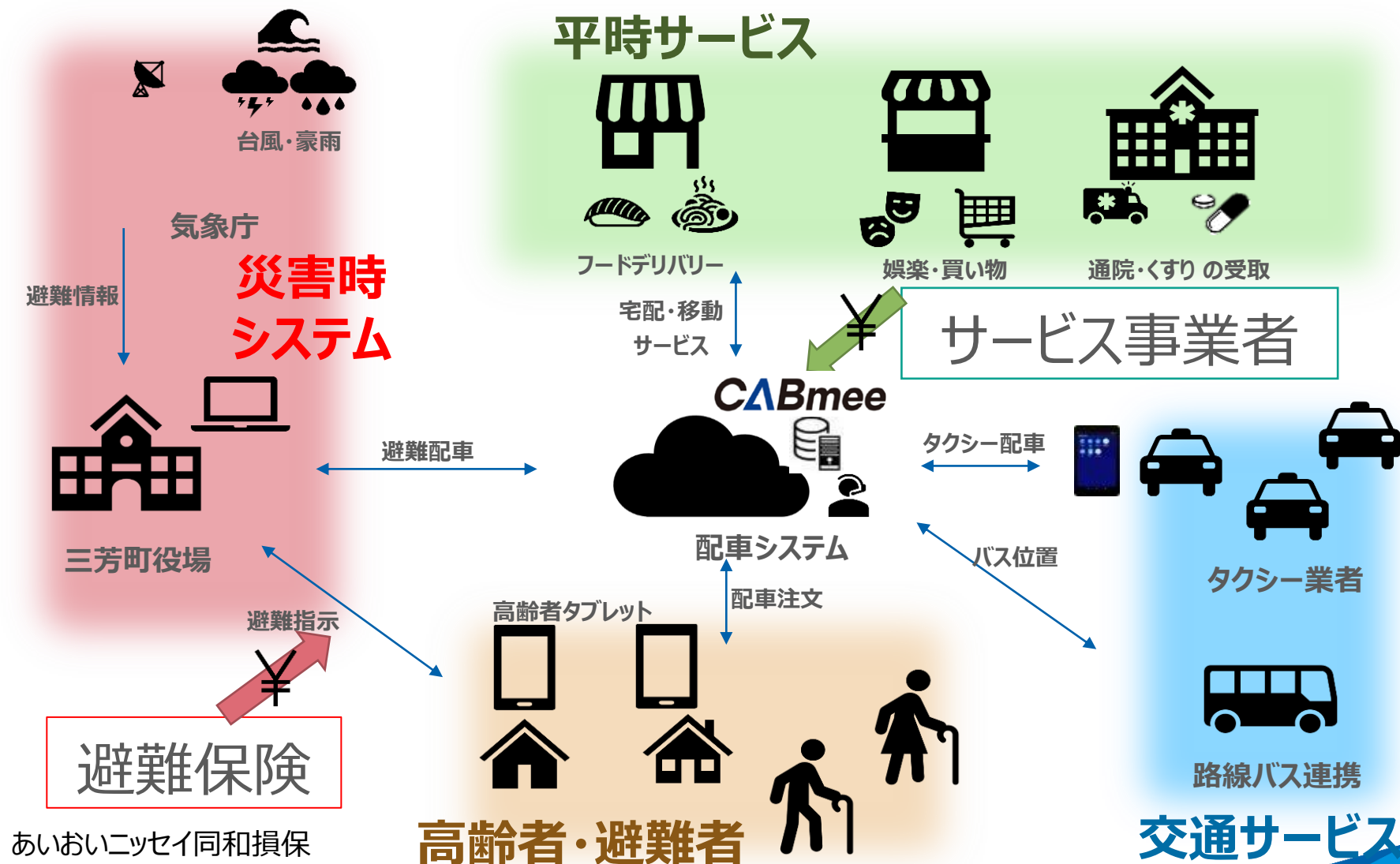
業界の環境変化：

①規制緩和 ②タクシーの活用拡大 ③ドライバーの高齢化



取り組み例 相乗りサービス実証実験（埼玉県三芳町）

■ CABmeeを活用した相乗りタクシー、配達・小売りサービスなどを検証中



1. DXビジネス事業について
2. 現在展開している主なビジネス
- 3. 成長シナリオと新たな取り組み**

通信型ドライブレコーダーを起点としたエコシステムの確立



通信型ドライブレコーダーの可能性

概要	第一世代	第二世代(現在)	第三世代(開発中)	第四世代 (将来)
通信	3G	4G	4G	4G&5G
CPU性能	0.3倍	1倍	5～10倍	x倍
基本機能	①常時録画、②通信 ③衝撃検知 ④自動送信 など			
付加機能	なし	• 居眠り検知 • 顔認証 • わき見検知	• 視点計測 • 異物検知 • 改ざん防止	• 無限の可能性
活用の広がり		• 保険運用 • 道路保全	• 高齢者運転規制 • 看板価値測定	• 無限の可能性

フロントカメラ、インカメラを組み合わせた3次元空間認識技術

- フロントカメラの情報と、インカメラのドライバーの視線情報を組み合わせ、標識や信号の確認、巻き込み防止確認、視線に基づく脇見運転など、今までにない高度な検知・運転評価が可能に

フロントカメラ映像



インカメラ映像



- インカメラの映像から視線方向を算出し、フロントカメラの3次元空間内のドライバーの視線方向を演算
- 同じ3次元空間内の標識の位置とドライバーの視線が重なっているかを判定し、ドライバーが標識を見たか判定

JVCKENWOOD

このプレゼンテーション資料に記載されている記述のうち、将来を推定する表現については、将来見通しに関する記述に該当します。これら将来見通しに関する記述は、既知または未知のリスクおよび不確実性並びにその他の要因が内在しており、実際の業績とは大幅に異なる結果をもたらす恐れがあります。これらの記述は本プレゼンテーション資料発行時点のものであり、経済情勢や市場環境によって当社の業績に影響がある場合、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。実際の業績に対し影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、（1）主要市場（日本、米州、欧州およびアジア等）の経済状況および製品需給の急激な変動、（2）国内外の主要市場における貿易規制等各種規制、（3）ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、（4）資本市場における相場の大幅な変動、（5）急激な技術変化等による社会インフラの変動、等があります。ただし、業績に影響を与えうる要素としてはこれらに限るものではありません。

三井住友海上GK見守るクルマの保険CM動画

GK 見守るクルマの保険（ドラレコ型） ビデオ判定篇

<https://www.youtube.com/watch?v=bQ3gmg7dKwU>

社有車向けサービス『Fードラ』導入企業続々篇

<https://www.youtube.com/watch?v=tlx-lqrY5hs>

GK 見守るクルマの保険（ドラレコ型） 事故対応も充実篇

<https://www.youtube.com/watch?v=l4LsISvVIZs>

事故対応サービス TECH FOR HEARTシリーズ（総集篇）

<https://www.youtube.com/watch?v=WwqE4X0biKE>